

# 教 育 委 員 会 会 議 録

開催日 令和5年9月27日

南 あ わ じ 市 教 育 委 員 会

南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会



# 南あわじ市及び南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会 合同定例会会議録

1. 日 時 令和5年9月27日（水） 午前10時00分開会

2. 場 所 南あわじ市役所 第2別館 第5会議室

## 3. 会議次第

開 会 午前10時00分

開議宣告

会議録署名委員の指名 数田委員（南あわじ市） 青木委員（学校組合）

前回会議録の承認

議 事

協議及び報告事項

閉議宣告

閉 会 午前11時00分

## 4. 会議の出席者

《南あわじ市》

（教育長） 浅井 伸行

（教育委員） 青木 京、数田 久美子、近藤 宰常、山本 真也

《学校組合》

（教育長） 浅井 伸行

（教育委員） 狩野 時夫、青木 京、山本 真也

## 5. 会議の欠席者

《学校組合》

（教育委員） 本條 滋人

## 6. 説明のため出席した者の職氏名

教育次長 福田 龍八、教育次長補兼学校教育課長 上原 泉、

教育総務課長 秀 充浩、社会教育課長 山家 光泰、

体育青少年課長 阿萬野 真司、教育総務課係長 佐々木 友美、

教育総務課主任 大西 重三子

## 1. 開 会

午前10時04分

【浅井教育長】 定足数に達しておりますので、ただいまから南あわじ市教育委員会及び南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会合同定例会を開会いたします。

## 2. 会議録署名委員の指名

【浅井教育長】 まず、「会議録署名委員の指名」を行います。

会議録署名委員につきましては、会議規則第15条第2項の規定により、1名の委員を指名します。

南あわじ市教育委員会会議録署名委員につきましては、数田委員にお願いいたします。

南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会会議録署名委員につきましては、青木委員にお願いいたします。

## 3. 前回会議録の承認

【浅井教育長】 次に、「前回の会議録の承認」に移ります。

前回会議録につきましては、事前に送付させていただいておりますので、ご確認をお願いしたいと思います。何かお気づきの点はございませんでしたか。

( 「なし」と呼ぶ者あり )

【浅井教育長】 ご意見がないようですので、前回教育委員会定例会会議録については原案のとおり承認することにご異議ございませんか。

( 「異議なし」と呼ぶ者あり )

【浅井教育長】 異議なしと認めます。

よって、前回の教育委員会定例会会議録承認することに決定しました。

## 4. 教育長報告

【浅井教育長】 次に、「教育長報告」をさせていただきます。

まず、はじめに（１）令和６年度当初予算についてです。学ぶ楽しさ日本一をめざして、今の取組を中心に進めていく予定です。教育委員の皆様にも取組に対するご意見、ご提案をいただけたらと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

次に、（２）アジア国際子ども映画祭についてです。今年度は、関西・四国ブロック大会を９月３０日午前１０時から湊地区公民館にて開催します。２１作品の応募の中から、上位３作品が１２月１５日からの本選に参加することとなります。今年度は、海外からの参加も予定されております。青木委員につきましては、作品の審査等に関わっていただきお世話になっております。本番もどうぞよろしくお願いいたします。

最後にお知らせですが、１０月２０日（金）に兵庫県都市教育長協議会が南あわじ市で開催されます。３つの議題、「部活動の地域移行に関する各市の取組状況について」「特別な配慮を要する児童生徒等の支援の状況及び支援員の適正な配置について」「よりよい地域と学校の連携・協働について」について、それぞれの市の取組を発表いただき、議論することになっております。

以上につきまして、ご意見等ございませんか。

（ 「なし」と呼ぶ者あり ）

【浅井教育長】 ないようですので「教育長報告」を終わらせていただきます。

## ５．協議及び報告事項

【浅井教育長】 続いて、協議及び報告事項に移りたいと思います。  
協議及び報告事項につきましては、お手元に資料を配布しております。

### （１）南あわじ市議会９月定例会の報告について

【浅井教育長】 はじめに、「（１）南あわじ市議会９月定例会の報告について」、事務局より説明をお願いします。

【福田次長】 お手元の当日配布資料「協議及び報告事項－別冊－」（一般質問答弁内容要旨）をご覧ください。

８月３０日から９月２８日までの会期で開催されております第１２１回南あわじ市議会定例会におきまして、７日、８日、１１日、１３日の４日間にわたり、１６名の一般質問がありました。そのうち、教育委員会関連の質問は１０名でございました。主な質問内容につきましては、おおよそ２１項目と多岐にわたっております。

まず、門崎砲台についてですが、5名の議員から多様な質問がありました。主な答弁内容といたしましては、砲台は劣化及び老朽化により非常に危険な状況で、現地での保存管理が困難であり、解体することが望ましいと判断したこと。文化財保護法に基づき、適正な事務手続きにより発掘調査を進めたこと。文化財保護審議会から提出された建議書の内容、「調査報告書の作成、AR技術の活用、ジオラマ模型の作成や砲台の一部を展示、復元するなどにより、南あわじ市の戦争の歴史を広く内外に普及啓発し、次世代に伝承していくことが望ましい」との意見に従い、今後、適正な保存及び活用を進めていくこと。などを答弁いたしました。

次に、中学校の部活動の地域移行に関する質問に対し、地域連携及び移行を進めて行くうえで、指導者の資質や人材確保等の指導者をめぐる課題、地域移行により受入れ団体に新たな負担が必要となることに対する支援体制の構築、部活動の地域移行に関して地域住民の理解を深めること等、本市では5つの課題があること。また、文化・スポーツ担い手強化応援補助金により、市内を拠点に活動している文化・スポーツ団体で、中学生を含めた若年層の市民が、団体の担い手として地域で活動することを応援するために用具を購入する、あるいは、担い手確保のためのイベント等の事業に対して必要な経費を助成すること。さらに、将来的には、生徒数及び教職員数の減少に沿って学校部活動の数が減少することも予測されますが、子どもたちの心身の健全な育成やスポーツ、文化芸術に親しむ機会として選択肢を減らさないよう地域の団体と連携し、地域移行に取り組むこと。などを答弁いたしました。

子ども議会での児童にとっての意義と、特に教育委員会の関係では要望の多い校庭開放と遊具の活用状況について、質問がありました。子ども議会をきっかけに児童は「まち」の課題を考え、クラスで話し合い、そしてこの議会で発言ができるという機会は大変貴重なものだと考えており、子どもが自分ごととして、解決できることはないかと考えることや未来のことを考えることから、将来、地域のづくり手として帰ってきてくれることがあることを期待していること。自分たちの意見が通っていくこと、真剣に大人が聞いてくれるのだ、という体験はとても重要であること。子どもたちが健全に育っていくために子どもたちの遊び場の確保というのは、非常に重要なこと。遊具の中で、一番よく活用されているのは学校で、休み時間を見ると、新しい遊具が入ったところは、一日中、子どもたちに使われていること。多くの子どもたちが歩いていける、また、自転車で行けるのは、小学校区だということで、学校の遊具の充実に取り組み整備したこと。などを答弁いたしました。

このほか、神代地区公民館大規模改修の進捗と今後の計画、民間プール活用における水泳指導の課題、スクールバスの運用、教員の働き方改革、生成AIの活用、給食費徴収に係る公会計化、校内教育支援センターやスクール・サポート・スタッフの取組、児童生徒へのメンタルヘルスチェックへの取組、ユース防災プロジェクトの事業内容、倭文中学校の跡地利用に関するサウンディング調査、学ぶ楽しさ支援センターの管理・運営及び第3の居場所業務委託事業、読書活動の推進、渦潮世界遺産に係る

絵画コンクール、通学路での鳥獣による事故の責任についてなど幅広い質問がございました。

質問内容と答弁の詳細につきましては、記載のとおりでございますのでご確認をお願いいたします。

以上で、南あわじ市議会9月定例会一般質問のご報告とさせていただきます。

**【秀課長】** 次に、令和5年度南あわじ市一般会計補正予算（第4号）につきましてご説明申し上げます。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の「地方公共団体の長は、歳入歳出予算のうち教育に関する事務に係る部分その他特に教育に関する事務について定める議会の議決を経るべき事件の議案を作成する場合には、教育委員会の意見をきかなければならない」と規定されている事件に該当し、市長より意見を求められています。

本来は、事前に当委員会にお諮りすべきところでしたが緊急的な対応を要したことから、教育長専決にて進めさせていただき、今回このような形で報告させていただくものです。

この補正予算につきましては、第121回南あわじ市議会定例会中日の9月13日に上程し、議会最終日9月28日に表決される予定です。

それではお手元の資料をご覧ください。

歳出について、10款、教育費、5項、社会教育費、8目、埋蔵文化財費において、8千万円を増額しております。これは、門崎砲台跡一部保存工事費8千万円となっております。

以上で、令和5年度南あわじ市一般会計補正予算（第4号）につきましてのご説明とさせていただきます。

**【浅井教育長】** 説明が終わりました。

この件について、ご質問、ご意見等ございませんか。

（ 「なし」と呼ぶ者あり ）

## （2）令和5年度全国学力学習状況調査の概要について

**【浅井教育長】** 次に、「（2）令和5年度全国学力学習状況調査の概要について」、事務局より説明をお願いします。

**【上原次長補】** 学力調査につきまして、今年度は、小学生は国語と算数、中学生は、

国語、数学、英語の調査がありました。全体的には、全国と同程度の評価でしたが、詳細に見ていくと、小学生の国語については、「話すこと・聞くこと」「読むこと」は県・国と同程度ですが、「書くこと」は県・全国よりやや低いという結果となりました。この結果に対し、自分の考えを表現していくような授業改善を図る必要があると考えており、言語活動を授業の中で明確に設定していくことを進めていきたいと思っております。中学校の英語の調査結果からも同様の傾向が見られます。質問に答えるやりとりは全国と同程度ですが、自分の考えを表現する発表の領域においては、全国よりやや低くなっており、無回答者が多くみられました。

次に、質問紙について説明させていただきます。小学校、中学校とも、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」「地域の行事に参加している」に関する項目は、全国より高くなっております。これらの項目は、地域の作り手の育成をめざしたもので、ふるさとを創造する児童生徒育成プログラムであるコアカリキュラムや防災教育などを有効に活用しながら取り組んだ結果であると分析しており、今後もさらに充実を図っていきたいと思っております。

一方、昨年度まで、家庭学習習慣に関する項目と読書に関する項目が全国より低い傾向がありましたが、今年度は、30分以上の読書をしているかという項目については、小中学校ともに全国と同程度まで改善してきております。読書活動推進員を中心に、読み聞かせや「うちどく」等に取り組んできた成果が現れてきたと考えております。

学習面では、根拠に基づいて自分の考えを述べるという記述式問題に課題がみられますので、今後もさらに、発表活動、体験活動を豊富に取り入れ、発表の場、学び合う場を設定し、自分の考えを述べられる授業を展開することを進めていきたいと思っております。

**【浅井教育長】** 説明が終わりました。

この件について、ご質問、ご意見等ございませんか。

**【狩野委員】** 質問紙を見ておきますと、さっきの説明にもありましたように家庭学習に関する項目が全国より低いというところが目につきます。これをどのように分析していますか。

**【上原次長補】** 今年度の小学校6年生は、野球、バレーボール、ダンスといった社会体育で活動している子どもが多く、家庭学習に充てる時間が少なくなっているのではないかと感じております。地域性も影響があるかと思っております。

**【狩野委員】** 毎年、「家庭学習のてびき」を各家庭に配付しているかと思いますが、保護者は、毎年と同じものが配られている、という捉え方をしているのではないかと思



います。家庭学習の時間の確保を家庭でしていただけるように、内容の工夫等が必要ではないでしょうか。

**【上原次長補】** 最近、自分で学習をしていくことが勧められており、学校は宿題を減らしている傾向にあります。また、家庭での読書と併せて、家庭での過ごし方を考えていただき、学校でも話し合いの場を設けていきたいと思えます。

**【浅井教育長】** 小学校6年生は、社会教育に時間が取られる側面がありますし、マイナス面として、ゲームの時間が多いという結果が出ています。それらが影響して学習時間の少なさに表れていると思えます。具体的な取組ということが難しいところですが、身に付く学びのためには自分が主体的に取り組むことが大事だと思えますので、何ができるか考えていきたいと思えます。ただ、一律にたくさんの宿題を出すということは考えておりません。

**【狩野委員】** 子どもたちが、宿題だけでなく家庭で学習する方向へ導くことは、学校の役割になると思えますので、どうぞよろしくお願ひします。

**【青木委員】** 質問紙に「英語は好きですか」という項目がありますが、小学校では英語が好きだと答えた割合が高いのに、中学校では低くなっています。逆に、「授業で学習したことは将来、社会に出たときに役に立つと思えますか（英語）」という項目は、小学校では低く、中学校では高くなっています。中学校では、約半数の生徒が英語を好きではないと答える反面、将来必要と答える生徒は9割近くになっています。この差をなんとかしないと、今後学校嫌いになったり、勉強嫌いを助長するのではないかと心配しています。英語の先生方で授業の進め方を議論いただいて、おもしろい授業や身に付く授業が持てるようになるといいのにと思えます。英語でつまづくということを何とかできないかと思えました。

**【上原次長補】** 中学校で英語の授業を見ていただいたことがあるかと思えます。青木委員がおっしゃったように、いかにALTと英語教諭とが、英語を楽しく学ぶことができ、英語が役に立つと感じる授業をできるかというところもあります。今の英語の授業は、英語を話す機会が少ないと感じています。

**【浅井教育長】** 高校入試、大学入試を乗り越えるために、英語を学ばなければならないということが背景にあると思えます。一番いいのは、英語を話せるという楽しさを授業の中に取り込んでいくことだろうと思えます。一方で、現実問題として入試を超えていくために、覚えなければならない、点数を取らなければならないというギャップが調査結果に表れていると思えます。現在の入試制度が変わらないと、学校

だけでは解決できないことだと思いますが、英語で話す機会やALTとの交流を通して、会話できると楽しいという体験を積み重ねていくことが必要だと思います。

**【上原次長補】** 英語を話すためには、その内容が充実している必要があります。発表は自分のことを語る場ですが、日本語で表現できない限りは英語でも表せないということになります。

**【數田委員】** 英語を必要とってないという理由も一つあると思います。必要性を感じていないうえに、今の英語の授業の進むスピードと覚える量では、なかなかついていけなくなるのではないかと思います。英語にかかる時間が少ないのに、覚える内容がたくさんあるため、消化しきれていないということもあるでしょう。先ほどお話がありました、日本語で自分の考えを表現できないと、英語も上達しないと思います。受験勉強と違う英語力が必要だと思います。

**【近藤委員】** 先日、神戸新聞に字幕翻訳家の戸田奈津子さんの記事が載っていました。戦後の日本では、戸田さんは英会話を学ぶ機会ほとんどなかったそうです。現在は、英会話を取り入れた学習が行われており、将来、英語に興味を持ったり、英語に関わる仕事に就いたりするチャンスが与えられていると見ております。調査結果の中で、社会に出たときに英語が役に立つと思っている中学生の意識が高いのに対し、小学生は低い。これは年齢の差による生活体験の違いもありますし、日常で英語と触れ合う機会がなく、英語が話せなくても困らないという日本の環境もあると思います。

調査結果の中で私が注目したのは、「道徳の授業で自分の考え方を深めたり、話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか」という項目です。ここ数年の間に、小中学校とも非常に伸びてきています。道徳の時間に、自分の意見を伝えたり、人の意見を聞いて自分の考えをまとめ、発表することが大切だということが認識されてきています。先生方の取組の成果が現れてきていると思いますので、他の科目でも、自分を表現する体験ができる授業へつながっていけばいいのではないかと思います。

**【山本委員】** やはり、国語が一番大事なのではないかと思います。大人になってから、いろいろな言葉を知っていてコミュニケーションに活用できるということは素晴らしいことだと思います。また、コミュニケーションの上で、社会や理科の知識を持っておくということも必要だと思います。社会や理科に対する小中学生の興味や好き嫌いについての調査結果などあれば教えていただきたいと思います。

「地域の行事に参加している」の項目は、小中学校とも全国より高く、さすが南あわじ市かなと思いました。これからさらに、小中学生が、大人や社会との関りをもっと深められるようになればと思います。

【浅井教育長】 社会や理科に関する項目は、今年度の全国学力学習状況調査に入っておりません。今後、南あわじ市独自で調査できる機会があれば実施したいと思います。

【狩野委員】 今回の調査結果は、実際に授業を行っている先生方の授業改善、授業の振り返りとして活かしてほしいと思います。学校の一部の職員が分析しても意味がないと思います。

また、小学校4、5年生の到達度テストは、個人の評価、得意面、不得意面の結果が返ってくると思います。これらも活用していただければと思います。

【上原次長補】 狩野委員がおっしゃった到達度テストですが、国語と算数について行っております。個人に評価結果をお返しし、不得意面はプリントでもお渡しします。また、学校の評価表をもとに分析するための説明会も行っております。学校ではこの分析を基に、学習プランを立て直し、学校評価にも活かすよう分析を行っております。

【浅井教育長】 教員自身が、自分の授業改善や資質向上は自分たちの本来の仕事として一番重要な部分だという意識を持つことが大事だと思います。

( 「なし」と呼ぶ者あり )

### (3) 当面の行事予定及び教育委員会後援名義使用許可の報告について

【浅井教育長】 次に、「当面の行事予定」、「教育委員会後援名義使用許可状況」については、資料をご覧ください。

## 6. その他

【浅井教育長】 次に「その他」に移らせていただきます。  
何かございませんか。

### ○12月の教育委員会定例会の日程調整について

【秀課長】 12月の教育委員会定例会については、日程調整の結果、12月20日(月)午前9時00分から第2別館第5会議室で開催したいと思いますのでよろしくお願いいたします。その後、午前10時から総合教育会議を予定しております。

## ○淡路三原高校3学年「総合的な探求の時間 成果発表会」について

【阿萬野課長】 10月13日（金）午前11時より、淡路三原高校3学年「総合的な探求の時間 成果発表会」を開催いたします。成人を迎える高校3年生が、若者の視点で南あわじ市の課題について、3年間かけて課題を見つけ、解決に向けた提案を考えて発表するものです。3年生80人の中から、2人以上の班を作り、9月21日に全体発表から8班が選ばれております。10月5日に学内の選考があり、8班の中から4班を選考し、13日に発表することになります。ご都合がございましたら、ぜひご参加いただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

【浅井教育長】 他になにかございませんか。

（ 「なし」と呼ぶ者あり ）

【浅井教育長】 ないようですので、これでその他を終了します。

## 7. 閉 会

【浅井教育長】 以上で本日の定例会の日程はすべて終了しました。

これをもちまして、南あわじ市教育委員会、及び南あわじ市・洲本市小中学校組合教育委員会合同定例会を閉会します。

午前11時00分